

2018年9月27日

お客様本位の業務運営に関するこれまでの主な取組内容の公表について

今般、朝日ライフ アセットマネジメント株式会社（社長：本間 義昭）は、「お客様本位の業務運営に関する基本方針」に基づく、2017年12月以降のお客様本位の業務運営に関するこれまでの主な取組内容について、別紙のとおり取りまとめましたので公表いたします。

今後とも、当社は、経営理念「クライアント・ファースト」のもと、同基本方針にしたがい、お客様の利益を第一に考え、長く信頼される資産運用会社となることをめざしてまいります。

2018年度 お客様本位の業務運営に関するこれまでの主な取組内容

「お客様本位の業務運営に関する基本方針」に係るこれまでの主な取組内容および取組みに係る成果指標（KPI）について、以下のとおりご報告いたします。

1. お客様の最善の利益の追求

- ・ 当社は、経営理念である「クライアント・ファースト」のもと、専らお客様の利益のために業務運営を行っています。

2. 利益相反の適切な管理

- ・ 「利益相反管理方針」に基づく管理を実施しました。
- ・ また、議決権行使における利益相反管理態勢の強化の一環として、社外有識者の弁護士を「責任投資委員会」のメンバーとして招聘しました。

3. 運用報酬等の明確化

- ・ 商品開発にあたっては、投資信託における「運用報酬に関する基本的な考え方」を踏まえた運用報酬の設定を行います。
- ・ また、運用報酬の適正性については「商品開発委員会」の審議過程で検証しています。

4. 重要な情報の分かりやすい提供

- ・ お客様にお届けする目論見書等の書類の作成にあたっては、平易な言葉や文章を用いるとともに、統一感のある記述を行い、情報の重要度に応じて書体や大きさを区別し、必要に応じて図表を活用するなど、分かりやすい情報提供の向上を進めました。
- ・ 販売会社向けのセミナーについては、ファンドの運用哲学・プロセスをご理解いただくため、お客様の視点を踏まえた平易な言葉や文章を用いたわかりやすい説明を行うことにつとめました。
- ・ 長期積立投資に関する情報提供については、お客様がイメージしやすいように、グラフの活用や見栄えなど、見やすさ、わかりやすさを追求した改善に取り組みました。

5. お客様にふさわしいサービスの提供

(1) 商品・サービス

- ・日本で先駆的にSRI投資（社会的責任投資）に着目したファンド「朝日ライフ SRI 社会貢献ファンド（愛称：あすのはね）」のビジネスモデルが評価され、2017 年度グッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞いたしました。
- ・お客様の中長期的な資産形成ニーズに応えるため、分配を極力抑制し複利効果による信託財産の成長を目指す「ハリス世界株ファンド（資産成長型）」を設定・運用開始しました。

【表1】受託資産残高推移

お客様の資産形成に貢献する商品の開発に取り組み、お客様のニーズと利益に合う商品・サービスの提供につとめています。

	2017年3月末	2018年3月末	2018年8月末		
			前年度末比		前年度末比
投資顧問 （契約資産残高）	6,286億円	6,780億円	107.9%	6,989億円	103.1%
投資信託 （純資産残高）	3,645億円	4,699億円	128.9%	4,929億円	104.9%

【表2】受賞ファンド

2016年以降の受賞歴は以下のとおりです。

2016年	2017年	2018年
R&I ファンド大賞 ◆ 朝日ライフ SRI 社会貢献ファンド （愛称：あすのはね） 投資信託/国内 SRI・環境関連部門 最優秀ファンド賞	R&I ファンド大賞 ◆ 朝日ライフ SRI 社会貢献ファンド （愛称：あすのはね） 投資信託/国内 SRI・環境関連 最優秀ファンド賞 グッドデザイン賞 ◆ 朝日ライフ SRI 社会貢献ファンド（愛称：あすのはね）	R&I ファンド大賞 ◆ 朝日ライフ SRI 社会貢献ファンド （愛称：あすのはね） 投資信託/国内 ESG 優秀ファンド賞 ◆ 朝日 Nvest グローバル ボンドオープン （愛称：Avest-B（エーベスト・ビー）） iDeCo・DC/外国債券円ヘッジ 優秀ファンド賞 Morningstar Award “Fund of the Year 2017” ◆ 朝日 Nvest グローバル バリューストック オープン （愛称：Avest-E（エーベスト・イー）） 国際株式型 部門 優秀賞

(2) 資産運用

- ・ スチュワードシップ活動の一環として、企業価値の持続的な向上を目的に投資先企業との対話（エンゲージメント）を積極的に行いました。
- ・ 国内株式の議決権行使状況について、ホームページで個別開示を行っています。
- ・ 運用のプロとしての人材育成のため、海外の外部委託先へのトレーニー派遣を継続実施しました。

【表3】証券アナリスト資格保有者数

当社の日本証券アナリスト協会検定会員は53名で、運用業務従事者の72%、役職員の46%が資格保有者です。

今後ともお客様本位に徹する資産運用プロフェッショナルとしてのスキル向上につとめてまいります。

日本証券アナリスト協会検定会員	53名
米国CFA協会認定証券アナリスト資格	3名

2018年9月1日現在。CFAには合格者を含みます。

6. お客様本位の行動の浸透に向けた取組み

- ・ 「お客様本位の業務運営に関する基本方針」に関する役職員向け全体研修を行い、お客様本位の業務運営の浸透につとめました。

以 上